

4 学年 音楽科 授業計画

広島市立 石内小学校

教科の目標

表現及び鑑賞の活動を通して、音楽を愛好する心情と音楽に対する感性を育てるとともに、音楽活動の基礎的な能力を培い、豊かな情操を養う。

評価の観点

- ・進んで音楽にかかわり、音楽活動への意欲を高め、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにする。
- ・旋律に重点を置いた活動を通して、基礎的な表現の能力を伸ばし、音楽表現の楽しさを感じる。
- ・音楽の美しさを感じ取って聴き、様々な音楽に親しむ。

評価の方法

【テスト、実技、ノート(プリント)、授業態度(発表など)】

学期ごとの学習内容と学習のポイント

	学習すること	学習のポイント
前期	歌と楽器のひびきを合わせよう ・さくらさくら 歌のにじ ・いろんな木の実 とんび 日本の音楽に親しもう ・こきりこぶし ・まきばの朝 ほか いろいろな音のちがいを 感じ取ろう ・音のカーニバル 木管 楽器の音楽 ほか	・旋律の階名視唱や視奏に親しみ、声や音が重なり合う響きを感じ取って演奏する。 ・旋律の特徴や響きの違いを感じ取りながら、日本の伝統音楽に親しむ。 ・音の特徴や音色の違いを感じ取って、想像豊かに聴いたり表現したりする。 ・イメージに合った音を探して、表現の仕方を工夫する。
後期	ふしのとくちょうを感じ取ろう ・もみじ 陽気な船長 ・オーラリー ほか 曲の気分を感じ取ろう ・つぎのまい ・冬の歌 ほか 音をきき合って合わせよう ・パレードホッポー ・茶色の小びん ほか 生き生きと歌おう ・歌よびひけ ・グッデー グッバイ ほか	・旋律の特徴を感じ取って、想像豊かに聴いたり表現したりする。 ・旋律の特徴を生かして、レガートやスタッカートなどの歌い方や楽器の演奏の仕方を工夫する。 ・曲想を感じ取って、想像豊かに聴いたり表現したりする。 ・歌詞の表す様子を思い浮かべて、歌い方や楽器の演奏の仕方を工夫する。 ・声や音が重なり合う響きを感じ取って聴いたり演奏したりする。 ・互いの声や音を聴きながら、拍の流れに乗って演奏の仕方を工夫する。 ・発声や呼吸の仕方に関心をもって歌い方を工夫したり、声を揃えて歌う喜びを味わったりする。